

Visual Basic 第4回

Visual Basicの配列

配列

テキスト P.214~

基本的な考え方はJavaの配列と同じ。

※同じ型のデータしかまとめることはできません。

宣言の仕方 ※初期化する必要あり

Dim 変数名(インデックスの最大値) **As** データ型

配列の要素にアクセス

変数名(インデックス) **Java**と同じ

Visual Basicの配列

テキスト P.220~

多次元配列

例 整数型の2次元配列(3×4)の場合の宣言は以下の通り

```
Dim 変数名(3,4) As Integer
```

配列のサイズを変更する

ReDimキーワードを用いる。

例)元の配列の要素数が3で5に増やしたい場合

```
Dim List(2) As Integer
```

```
ReDim List(4)
```

※これを使った場合、中身にデータはリセットされる。リセットしないで、サイズ変更したい場合にはReDim Preserve と宣言する。

EX)動的配列と配列

動的配列とは、後から要素の数を決められる配列のこと。

動的の反対は静的。静的配列とは普通の配列のことを指す。

VisualBasicにも動的配列が存在する。

動的配列はプログラマにとっては便利だが、通常、配列で済む場合には配列を用いる。

その理由を考えてみてください。

演習

実習

テキストChapter6 04 (P.230)のプログラミングにチャレンジを読みながら進めてみなさい。終わった人は、P.210の練習問題Aにチャレンジしてください。

それも終わった人は声をかけてください。追加の課題を渡します。

HINT

- ・標準偏差を求める式は以下の通り

$\sqrt{\{(\text{各データ} - \text{平均値})^2 \text{の総合計} / \text{データの個数}\}}$

- ・配列のインデックスの最大値を求めるメソッドは以下の通り

`UBound(配列名)`

- ・平方根は以下のメソッドを用いて求める

`Math.Sqrt(数値)`

- ・小数点数を第2位までを文字列化するときは以下のフォーマットを指定する

`小数点数.ToString("F2")`